

（ 奈良県立大学「地域に開かれた大学」の特別講義 ）

奈良県立大学は、地域に根ざし、地域に開かれた大学を目指しており、様々な講義、講座、研究会を開催している。この活動の一環として行っている「特別講義」は、テーマを限定し、学外の研究者・実践家を招き行なうもので、一般の人々も聴講が可能となっている。

今年度前期の特別講義では、奈良県知事及び県幹部職員を講師に招いての「地方自治体論」（4月～7月まで12回開催）と南都経済センターの講師による「奈良地域特別講義」（4月～7月まで10回開催）の二つが開催されている。

特別講義第1回目の「地方自治体論」（4月13日）では、柿本奈良県知事が、「奈良県の実相を観る」と題して講義。「奈良県は、災害の少ない、住みよいところで、人口は平成12年まで増加してきたが、平成13年以降は減少傾向になっている。これは土地価格の低下により、大阪府などへの回帰が起こっているため。可住地面積割合が全国43位と平地が少なく、工場立地には不向きである。一方、国宝・重要文化財指定件数は、東京都、京都府について3位、こういうものに触れられる県として観光の魅力をもっと全国、世界に発信していかねばならない」との提言があった。

なお、今年度後期には「観光学特別講義」が予定されている。皆さんも、是非ともご参加下さい。
(上田)

「地方自治体論」：奈良県（18:00～19:30）

開講日	テ	マ
5月18日	保険・医療行政について	
5月25日	高齢者福祉対策と介護保険改革	
6月1日	環境政策と地方自治体	
6月15日	奈良の道路ネットワークの構築について	
6月22日	農業行政について	
6月29日	警察行政について	
7月6日	商工労働行政について	
7月13日	教育行政について	

「奈良地域特別講義」：南都経済センター（14:40～16:10）

開講日	テ	マ
5月13日	21世紀	奈良県のビジョン
5月20日	地域クラスター「NARAモデル」とは	
5月27日	奈良県産業の活性化に向けて	
6月3日	顧客満足からみた奈良の観光産業の行方	
6月10日	観光地奈良を考える	
6月17日	奈良県の住宅状況について	
6月24日	奈良県における女性の能力活用について	
7月1日	奈良県の林業について考える	

問合せ先：奈良県立大学学生課

住所：奈良市船橋町10番地

TEL：0742-22-4978

URL：<http://www.narapu.ac.jp/>

これからの主な催し

〔主な行事〕

●5月28日（土）

不退寺（ふたいじ） 業平忌

在原業平の命日にあたる日、本堂内に業平面像をかけた、アヤメ、カキツバタを飾り、その遺徳を偲ぶ。

JR、近鉄奈良駅から西大寺行きバス

不退寺口下車徒歩5分

●6月5日（日）

シャカシャカ祭

橿原市上品寺町で開催

農業の無事を祈り、収穫に感謝する祭。

米のワラで長さ5m、直径30cm 足らずの蛇を作り、男の子たちが担いで村を練り歩き、バケツの水に蛇をつけた後に、神木に巻きつけて、蛇の供養をする。

近鉄橿原線大和八木駅から線路沿いに北へ徒歩10分

●6月17日（金）

ゆり祭（三枝祭）

率川神社 奈良市本守町

大宝年間（701～703）から伝わる行事。お供えの笹百合（三枝）の花は厄病よけとして、参拝者が競って乞い受ける。

近鉄奈良駅より南へ徒歩10分